

内閣総理大臣 野田 佳彦 様  
防衛大臣 田中 直紀 様

国会ピースサイクルにて 2012年5月25日

# 米軍普天間基地の無条件閉鎖を求め、県内移設や南西諸島の自衛隊配備に反対する要請書

私たちピースサイクル全国ネットワークは、この間、自転車で全国の人々と地域を結び、平和、人権、環境保護を訴え、今年で27周年を迎えます。

67年前の大日本帝国によるアジア・太平洋地域での植民地支配と侵略戦争の歴史を学び、この日本とアジア、世界の平和を目指して毎年夏に自転車を走らせ、全国をリレーしながら、平和メッセージを集め、沖縄、広島、長崎、六ヶ所村、国会に届けています。海外においても韓国、中国、フィリピン、マレーシア、シンガポールなど、アジア各地で現地の人々と共に旧日本軍の侵略の実態を確認し、戦争被害者の訴えを聞きました。

昨年3月11日の東日本大震災によって多くの死者と行方不明者を出し、今なお十数万人の避難者が困難な中で避難生活を余儀なくされています。いまま日本は、大地震による大津波、福島第一原発における原発震災によって未曾有の危機に遭遇しています。

また、沖縄県民の声に耳を傾ければ、「基地のない平和な島」が沖縄県民の声であり、沖縄での米軍基地負担を軽減することが日本国民総体の声であると思います。政府および防衛省は、この声に真摯に応えるべきです。米国上院軍事委員会からも非現実的との指摘がある中、基地を辺野古へ移設するのではなく、普天間基地の即時閉鎖、米海兵隊の撤退を米国に求めるべきです。また、東村・高江にヘリパッド基地をつくる事は許されません。オスプレイは多くの事故により、未亡人製造機とまで呼ばれています。年内配備など全く認められません。むしろ、日米安保条約を破棄し、軍事同盟によらない平和で対等、民主的な日米関係を構築していかなければなりません。

日米の共同軍事行動が当然のように行われています。米軍再編で日米両軍が狙っていた軍の一体化の先取りです。私達は日米安保条約の延長上に、沖縄県内に普天間基地の代替施設が建設されることに政権の公約違反を強く指摘し、米軍普天間基地の即時・無条件閉鎖を下記の通り求めます。また、普天間基地の恒久化をも狙いその改修費まで要求する米国に対し、グアムへの8000名の移転が約5000名に減った事で、むしろ減額すべきです。以下、具体的に要請します。

## 記

- 1 辺野古への基地建設断念と普天間基地の無条件返還を求めます。
- 2 東村・高江にヘリパッドを建設することを中止してください。
- 3 沖縄の米軍基地の集中は、戦後の米軍占領状態のままです。基地の押しつけは、沖縄差別と呼ばれるべきもので容認できません。沖縄に存在するすべての米軍基地の返還を求める交渉を行うこと。
- 4 日米安保条約を見直し、破棄をすること。
- 5 沖縄での南西地域への自衛隊の軍備の増強等を行わないこと。
- 6 日米両軍の一体化による共同軍事行動に反対します。

以上

## ピースサイクル2012全国ネットワーク

連絡先 東京都千代田区三崎町2-6-2 ダイナミックビル5F たんぽぽ舎内  
担当者 久保 博夫(046-267-7525 フックスも)